

日本語プログラム

専攻	研究部門	研究指導	出願コード		主担当教員	副担当教員						
			修士課程	博士後期課程								
化学・生命化学専攻	物理化学部門	構造化学研究	赤外・ラマン分光, NMR, X線回折を用いて, エネルギー・CO2問題を物理化学の視点から研究して解決することを目指し, 以下の課題に関して研究指導を行う. ①ペロブスカイト化合物や導電性高分子を材料とする太陽電池・熱電発電素子の開発と動作機構解析, ②CO2回収液の反応機構解析と新規吸収剤の開発, ③CO2電解還元反応の研究と電極触媒の開発, ④CO2光還元反応の解析と光触媒の開発, ⑤新規炭素材料の開発と劣化に関する研究	K02	K52	教授	理学博士(東京大学)	古川 行夫	furukawa@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	物理化学部門	電子状態理論研究	分子構造や電子状態, 化学反応のメカニズム, 固体の示す様々な物性を分子軌道法を中心とする量子化学計算により解明する。より現実的な系を取り扱うために、従来の理論の拡張・計算アルゴリズムの改良・新しい理論の構築を行う。	K03	K53	教授	博士(工学)(京都大学)	中井 浩巳	nakai@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	物理化学部門	光物理化学研究	物質の光物理化学的性質を解明するために、新しい顕微分光手法の開発を進めている。特に、ナノ物質を研究対象として、物質に励起される素励起の動的空間構造の可視化によりナノ物質特有の光学特性、光反応特性、超高速現象、非線形性の解明を目指す。	K15	K65	教授	博士(理学)(大阪大学)	井村 考平	imura@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	有機化学部門	化学合成法研究	生物活性化合物の全合成、およびそのための反応、方法論、不斉合成法の研究。生物活性化合物の全合成に基づくケミカルバイオロジー研究。	K05	K55	教授	薬学博士(東京大学)	中田 雅久	mnakada@waseda.jp			

日本語プログラム

専攻	研究部門	研究指導	出願コード		主担当教員	副担当教員		
			修士課程	博士後期課程				
化学・生命化学専攻	有機化学部門	機能有機化学研究	K06	K56	教授 工学博士（早稲田大学） 鹿又 宣弘 kanomata@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	有機化学部門	反応有機化学研究	K07	K57	教授 博士（理学）（東京大学） 柴田 高範 tshibata@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	無機・分析化学部門	無機反応化学研究	K09	-	教授 理学博士（名古屋大学） 石原 浩二 ishi3719@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	無機・分析化学部門	錯体化学研究	K10	K60	教授 理学博士（東北大学） 山口 正 yama@waseda.jp			

日本語プログラム

専攻	研究部門	研究指導		出願コード		主担当教員				副担当教員		
				修士課程	博士後期課程							
化学・生命化学専攻	生命化学部門	分子生物学研究	細胞周期分裂期制御：Aurora Kinaseの解析を中心に、セントロメアの機能を、また、中心体の複製や紡錘体形成の分子メカニズムを明らかにする。cDNAライブラリーや短鎖ペプチドランダム・ライブラリーなどの遺伝子工学にとって不可欠の技術の開発と応用を通して、新しい機能を持つ生体高分子（蛋白質、核酸等）の発見を行う。老化制御や癌化のメカニズムの解析や抗がん剤の開発。	K14	K64	教授	医学博士（自治医科大学）	寺田 泰比古	yterada@waseda.jp			

日本語プログラム

専攻	研究部門	研究指導		出願コード		主担当教員				副担当教員		
				修士課程	博士後期課程							
化学・生命化学専攻	生命化学部門	生物分子化学研究	コラーゲン分子およびコラーゲンと結合するタンパク質群を主たる研究対象として、その機能解明と制御を目指した研究を行う。ペプチド・タンパク質化学を基礎としつつ、従来の学問分野にとられない分野横断的かつ総合的な研究ストラテジーを開拓する。	K11	K61	教授	博士（薬学） （京都大学）	小出 隆規	koi@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	生命化学部門	ケミカルバイオロジー研究	生物活性を有する低分子化合物を探索して、各種スペクトル測定および化学変換によってその構造を明らかにする。得られた化合物を使ってES/iPS細胞の分化調節機構や共生微生物間のケミカルシグナルネットワークの解明を試みる。	K12	K62	教授	博士（農学） （東京大学）	中尾 洋一	ayocha@waseda.jp			
化学・生命化学専攻	物理化学部門	ケム・インフォマティクス研究	インフォマティクス技術を化学研究に活用し、化学の基礎となる化学/物理法則や知識体系の構築、応用としての革新的な材料の探索や合成指針の獲得など、化学研究を深化・進化させるための基礎および応用技術を構築する。	K16	K66	准教授	博士（理学） （首都大学東京）	清野 淳司	graduate@sci.waseda.ac.jp			